

R7 年度 信越自然郷エリア観光レポート

1. 観光地域概況

(1) 区域の概況

信越自然郷エリアは、上信越高原国立公園・妙高戸隠連山国立公園にまたがり、中央を日本一の大河・千曲川（信濃川）が流れる自然豊かな地域です。全国屈指の豪雪がもたらす高い雪質を活かしたスノーレジャーに加え、四季折々の自然、多種多様な温泉、人気のスノーモンキー等、多様な観光資源を有しています。北陸新幹線「飯山駅」「上越妙高駅」を玄関口とし、東京や北陸、関西圏をつなぐゴールデンルートからアクセスが良い地域です。

(2) ターゲットとする旅行者像

- ターゲット①：四季を通じたアウトドアアクティビティ志向の来訪者
- ターゲット②：グリーンシーズンも含めた自然体験・歴史文化志向の外国人観光客
- ターゲット③：温泉と自然の中での「体験」による保養休養を目的とする層

(3) 目指す地域の立ち位置（ポジショニング）

「質の高い雪・自然体験ができるアウトドアアクティビティの聖地」であるとともに、全国的にも稀有な温泉地や地域文化が色濃くのこる長期滞在型「保養休養型観光地」という 2 つの強みを併せ持つ地域として、通年で選ばれるフォーシーズン・マウンテンリゾートを目指します。

2. 活動意義

飯山駅を中心に半径 20 km 圏にひろがる共通文化圏：信越自然郷エリア（長野県・新潟県にまたがる 9 市町村）のマネジメント・マーケティングを一体的に担う地域連携 DMO として、信州いいやま観光局は、行政・宿泊事業者・交通事業者・観光関連団体など多様な関係者と連携しながら、データに基づく観光地経営を推進しています。妙高市・野沢温泉村など、当エリア内で独自に DMO を有する地域とは、広域的なマーケティング・プロモーション・広域コンテンツ造成を当局が担い、地域を限定した課題解決や事業は各地域 DMO が分担するという役割分担のもと、エリア全体の観光地域づくりを推進しています。

3. 取組内容及び成果

(1) 着地整備・商品造成

- サイクルツーリズムの推進：サイクルステーションの設置、コース策定、サイクリングプランの提案（DMO 関連団体・長野県等の協議会への参画を通じた戦略共有）
- 保養休養型滞在商品の造成：温泉と自然体験（森林セラピー、農業体験、酒蔵見学、伝統工芸や食文化等）を組み合わせた滞在商品の開発
- 二次交通の確保：冬季（1～3 月）のタクシー不足・キャッシュレス未対応の課題に対し、Uber 及び乗り合いタクシー（野沢温泉、飯山）の実証実験を開始し、解消しつつある

(2) インバウンド受入環境整備

- 信越自然郷飯山駅観光案内所（日本政府観光局認定外国人観光案内所カテゴリ 2）、信越自然郷アクティビティセンターによる広域観光の情報発信・宿泊手配・観光案内
- 飯山駅観光交流センターの無料公衆無線 LAN、多言語デジタルサイネージ等の整備
- 欧米豪（特にドイツ、豪州）をメインターゲットとしたファムトリップ誘致、スキーEXPO等の展示会出展

（３）人材育成

- 地域全体を横断して案内できるスルーガイドの育成、サイクリング・ハイキング・スキー等分野別ガイドの育成
- 地域での働きやすさ向上や関係者、市民の地域愛の醸成による、内部人材の定着・外部人材の獲得

（４）地域への還元

- 観光事業者と地域の食材等の生産者を繋ぐ仕組みの構築、ワークショップ等を通じた域内経済循環の啓発、域内調達率の向上を目指して運営を行っております。

4. KPI の達成状況

以下は、当エリアが設定している主な KPI の直近の状況です。

- 延べ宿泊者数：R5・R6 年度は冬季を中心とする欧米豪・アジア圏インバウンドの増加により、コロナ前水準を上回る実績（全体：年率 2% 増、インバウンド：年率 10% 増を目標）
- JR 飯山駅 1 日平均乗車人員：R5 年度 981 人 → R6 年度 1,095 人（前年度比+11.6%、うち新幹線利用分は +15.6%）
- 来訪者満足度：エリア来訪者満足度アンケート「大変満足」の割合を指標とし、年 1.5% アップを目標
- 月別来訪者数の平準化：グリーンシーズンの誘客強化により、冬季偏重の是正に取り組市中
- 旅行消費額：R5 年度以降、欧米豪インバウンドの増加により拡大傾向（年 2～3% の伸びを目標。） 5. 地域経済や社会変化の分析

5. 地域変化や社会変化の分析

欧米豪を中心とする冬季インバウンドの増加により、旅行消費額・宿泊者数は着実に回復・拡大していますが、グリーンシーズンの誘客は国内・県内の他地域に後れをとっており、季節による地域経済への波及効果の偏りや通年を通じた安定的な事業運営が課題となっています。

こうした状況を踏まえ、グリーンシーズンの誘客促進による季節間の平準化、域内調達率の向上による地域経済循環の強化、地域の生活文化を守り持続可能な観光地域づくり、住民の皆さまのシビックプライド醸成を通じた観光による受益の実感向上に、地域一体となって取り組んでまいります。

本資料に関するご意見・ご質問は、下記までお寄せください。

信州いいやま観光局 飯山駅観光交流センター TEL：0269-62-7000 E-Mail：info@shinetsu-shizenkyo.com